

プロテインキナーゼCnアイソザイム ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0576

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達路によって細胞内で活性化されます。フォルボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa2+およびホスホリビッドを必要とし、PKC α 、 β I、 β II、および γ が含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリビッド依存ですがCa2+非依存であり、PKC δ 、 ϵ 、 η 、および θ が含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォルボールエステルによって活性化されず、PKC ξ 、 μ 、および ι が含まれます。

別名

PRKCH; Ca2+活性化リン脂質依存性セリン・スレオニンキナーゼ η アイソザイムヒト; PKC η ヒト; PKCH; EC 2.7.1.37

製品情報

種

人間

由来

バキュロウイルスに感染した昆虫細胞

形態

緩衝された水性グリセロール溶液

EC番号

EC 2.7.1.37

分子量

mol wt 82-84 kDa by SDS-PAGE

純度

> 90% (SDS-PAGE)

緩衝液

20 mM HEPES、pH 7.4、2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、250 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50% グリセロールの溶液。

代謝路

心筋細胞におけるカルシウム調節、特定の生物系; PIP2加水分解の影響、特定の生物系; エンドセリン、特定の生物系; Gタンパク質シグナル伝達路、特定の生物系; G alpha (q) シグナル伝達イベント、特定の生物系; G alpha (z) シグナル伝達イベント、特定の生物系; GPCR下流シグナル伝達、特定の生物系

機能

ATP結合; 酵素結合; 金属イオン結合; ヌクレオチド結合; プロテインキナーゼC活性

単位定義

1ユニットは、30°CでpH 7.4の条件下で1分間にPKC ϵ 基質ペプチドに1 nmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

保存方法

-70°C